文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日	
議長	副議長	局長	次長	長	副主幹	担当	文書取扱主任

第 3 回 議会改革特別委員会 会議録

開催年月日	平成 23 年 11 月 1 日 (火曜日)	開会 13 時 29 分	閉会 14 時 30 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	荒木、関藤、清水、渡邊、堀、柴田、窪之内	事務局	菊井次長
	委員外～渡辺		寺嶋副主幹
欠席委員	山口		
説明員		議 件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	次の事項について委員長から説明を受け、質疑を行い、確認済みとした。		
	1. 議会だより発行に関わる予算について		
	議会だよりは 12 ページ立て、1 色刷りとして予算要求することに決定した。		
	2. 掲載内容について		
	定例会の概要、議決結果など、掲載項目については、今後の委員会で 1 つずつ確認していくこととした。		
	3. 発行規程について		
	発行規程をつくる方向で進めることとした。		
	4. その他について		
	清水委員から議会報告会について質疑があったが、今年度は議会だよりの作成に専念することとし、来年度以降、議会報告会も含めて柔軟に検討していくこととした。		
	5. 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することとした。		
上記記載のとおり相違ない。 議会改革特別委員長 荒木文一 ㊞			

第3回 議会改革特別委員会

H23.11.1(火) 13:30～
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1. 議会だより発行に関わる予算について

2. 掲載内容について

3. 発行規程について

4. その他について

5. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第3回 議会改革特別委員会

H23. 11. 1 (火) 13時30分

第一委員会室

開 会 13:29

委員動静報告

- 委員 長 欠席～山口。委員外議員～渡辺。プレス空知の傍聴を許可する。
- 委員 長 1. 議会だよりの発行に関わる予算について
- 委員 長 P2に資料を添付している。事務局から説明願う。
- 寺嶋副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)
- 委員 長 説明が終わった。質疑はあるか。
- 窪之内 1色刷りでも濃淡はつけられるのか伺う。
- 委員 長 1色だが濃淡はつけられる。表紙のみカラーというのは、表紙についてのみいろいろな色を使えるという意味である。
- 委員 長 他に質疑はあるか。
- 清 水 紙質について、とじ方は広報と同じ2穴方式なのか伺う。
- 寺嶋副主幹 紙質は広報紙と同等のものを考えている。広報に折り込む予定なので2穴を予定している。
- 委員 長 他に質疑はあるか。
- 堀 単価は幾つかの業者から見積もりを取ったのか。他の自治体から見て適当な価格なのか伺う。
- 寺嶋副主幹 見積もりは参考見積もりということで他の自治体と比べて適正かどうかはわからないが、広小路印刷は広報たきかわを印刷していることで、自社印刷だと折り込み手数料を安く押さえることができるということがある。その面でトータルでは他社で印刷するよりも単価が押さえられると思う。
- 委員 長 他に質疑はあるか。
- 清 水 完全な原稿持ち込みなのか、あるいは一定程度まで完成させたものを印刷会社のほうで仕上げる形になるのか。印刷会社にレイアウト等を頼むと出来栄が全く違うがいかかか。
- 寺嶋副主幹 おおよそのレイアウトは事前に印刷会社と決めておき、原稿データを印刷会社に渡す方式を考えている。
- 委員 長 他に質疑はあるか。(なし) 前回は話したが、予算要求の時期でもあるのでページ数を決めないと中身の検討に入れない。私がほかの自治体の議会だよりを見た感想も含めて言う。12ページにすると中身は膨大になるが、8ページでも12ページにほとんど遜色ないと考えていただいてよい。ページ数の違いは一般質問等の載せ方によると思うが、財政的にも厳しい時代なので、少なくとも8ページからスタートさせていただき、後に12ページ立てがいいということが議論になってくれば考えたいと思う。私としては、まずは8ページの1色刷りでスタートするべきだと思うが、皆さんの意見はいかかか。
- 堀 委員長の意見に賛同する。
- 委員 長 ほかの委員はどうか。
- 柴 田 8ページから始めることでよいと思う。
- 委員 長 当初はこれでスタートするということがよいか。

清水 この場でどこまで内容について決めるのか。特別委員会ではない私的な委員会で作るとなると、一般質問を載せることには異論がないが、議案や議案に対する各議員の態度、あるいは意見書の採択などをこの委員会でもどこまで決めていくのか確認したい。

委員長 この前の話では、少なくとも四、五人といった最小の人数で、各会派から1人ずつつくりの感じで仕上げてもらい、ここの委員会の場では基本的にはこういう中身で載せる、例えば発行規程もつくるなど、そこまで詰めた上で渡すというような認識なので、この場で決めたいと思っている。

清水 今回の議会改革を行うに当たり、改革案を決めていく土台になる考え方の中に滝川市のオリジナリティー、自主性を出せることを大事にしたいと思っている。議会だよりを出していないのは滝川市くらいで、ほかの議会の例を参考にしてすべて平均的なものというやり方では市民に訴えるものが余りないのではないか。10年、20年前から発行している団体に対して、今回初めて発行するという点では市民に対するアピールが必要だと思う。8ページでも12ページでも遜色がないというのは違うと思う。アピールするという点で、例えば第1号だけは12ページ立てにして表紙をカラーにし、第2号からは経費削減の折りで8ページ立てにするなどしてはどうか。1定は予算議会なのでかなり知らせることが多い。1定は16ページ立てにするとかそういっためりはりも必要ではないか。

委員長 まだ議会としてなれていないとか、例えば業者にいろいろこういうふうにしてほしいという部分でも最初から無理をすると失敗するという認識なので、8ページ立てでスタートしてはどうかと言っている。そのうちに3月議会は載せることが多いとか、そういうことを踏まえながら2年目でも間に合うのではないかという考えである。初年度はとりあえずスタートして、いろいろなことを議論して二、三年かけてオリジナリティーを出したりといった余裕が出てくるのではないかということ申し上げたのだが、賛同いただけないか。ページ数が変われば、レイアウト、単価も変わってくると思うので、我々もなれることが必要ということから8ページ立てでスタートしたいということである。一たん休憩する。

休 憩 13:45

再 開 13:58

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。清水委員からいろいろ意見をいただいた中で、最終的に12ページ、1色刷りで少し余裕を持たせて予算要求することで皆さんから了解いただいたということで、このことについて確認してよろしいか。(よし) そのように決定する。

2. 掲載内容について

委員長 載せる項目を確認したい。資料にほかの自治体の載せ方をピックアップしたものを添付している。表紙にはある程度写真が要る。定例会の概要が大体載っている。また議決結果は満場一致で可決した場合が◎、賛成多数の場合は○などといった載せ方もあるし、単純に可決か否決かという載せ方をしているところもある。議員一人一人の採決に臨んだ態度が載っているものなどの3パターンがある。また、一般質問、代表質問の要旨が必要になってくるが、写真を載せて3つくらいのやりとりを要旨として載せているものもあるし、もう少し幅を広げて字を大きくして要旨も肉づけをし、さらにそれに関係するような写真を

載せるというやり方もある。私が見た中では、江別市議会と網走市議会の載せ方がスマートだったと感じている。単純に字を羅列するのは非常に見にくい。顔写真を載せるか、それに関連する写真を載せることが必要と考えている。また、陳情や常任委員会の要旨、次回の議会日程などを載せているところもある。編集後記が本当に必要かということもあるが、大体は載せている。その他として政務調査費の収支報告を載せている議会と載せていない議会がある。あるいは、議会から発信するようなトピックス的なものを載せている議会もある。常任委員会視察報告、行政視察の受け入れ状況を載せている議会もあった。定例会だけでなく常任委員会、特別委員会、視察関係のすべてを日誌として市民の皆さんに確認いただくというふうに乗せているところもある。議会主催の報告会をやっているところでは、その案内なども載ってくるので、こういう中での組み立てになるのではと思っている。今私が言った中で、こういうものが抜けているということがあれば意見をいただきたい。

窪之内
委員長
清水

改選期に議会人事を載せてはどうか。

ほかの議会でも載せているようである。他に意見はあるか。

議案審議は非常に重要である。資料4の一番上に補正予算の審査が出ている。一般会計の補正予算では、市民の関心が高い補正予算もある。議決結果も大事だが、審査内容にもう少しボリュームがあってもいいと思う。議案審議についてもう少し詳しく掲載する必要があると思うがいかがか。

委員長

編集担当議員がやるとなると、最初から複雑にするとできないと思うので、そういうことも踏まえた上で、ずっと同じ内容を載せるということではないので、補正予算の審議内容の要旨や流れ的なものを編集委員にすべて任せてできるのかということがある。編集委員が悩むようなことを最初から要求すると厳しいと思う。それでほかの市議会も一覧表にしていると思う。新人議員が担当したとしたらなおさらだと思うがいかがか。

清水

議会事務局がつくっているホームページの議決結果にはきちんと補正予算の内容が出ている。広報たきかわには市政執行方針か予算大綱の内容が出ていると思うが、補正予算は余り見たことがない。

委員長

一たん休憩する。

休 憩 14:11

再 開 14:24

委員長

休憩前に引き続き会議を再開する。補正予算の中身や内訳などについては参考にさせていただいた上で、それぞれの項目について特段抜けているものがなければ次回以降一つ一つ整理をしていき、最終的に12ページ立ての案として示したい。一度に全部整理するのは無理なので、ある程度決まった段階で委員会を招集し、その部分についてはその日のうちに結論を出すやり方で進めたいと思うがいかがか。(よし) そのように決定する。

3. 発行規程について

委員長

私は発行規程をつくるべきだと考えている。発行規程の中身としては、一般質問の要旨は質問者が決められた字数の中で何日までに発行責任者に提出するといったものである。答弁要旨については議会事務局が何字以内でまとめるなど、必要最低限のルールを取りまとめたものを発行規程としてお示しして最終的に決めたいと思う。発行規程が必要ないという意見はあるか。(なし) これについてはきょうは踏み込めないので、項目が二、三個まとまった時点で委員

会を開催したいがよいか。(よし)

4. その他について

委員長
清水

委員から何かあるか。

前回の委員会で議会報告会というのがあったが、栗山町をまねするような中身だが出前委員会はいいのではないか。議会報告会というのは、議決結果を説明するのに文書を出すのはいいが、反対意見が出なかったか聞かれたときそこに参加している人たちがもしみんな賛成者だったら答弁のしようがないのではないか。議会報告会は、栗山町がやった中で失敗例として見るべきものだと思っているので、柔軟に進めていただきたいがいかがか。

委員長

当面は議会だよりに傾注し、来年の発行に間に合わせたいと思っている。議会報告会等については決してまだ決まったわけではない。そのほかに委員から何かあるか。(なし) 事務局からあるか。(なし)

5. 次回委員会の日程について

委員長

正副委員長に一任いただくことでよいか。(よし) 以上で第3回議会改革特別委員会を閉会する。

閉 会 14:30